

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語 (6) (A Basic Way of Reading Trump-Language)

後 藤 寛

多国間主義ならぬ排外主義的な America First を唱え、貿易交渉でも他国間での交渉となる TPP (環太平洋パートナーシップ) 協定も離脱し、2 国間のみの deal (取引) で手早く米国に有利をもたらす Trump 大統領であるが、今後は日米間の貿易交渉も懸念されている。彼のツイートに対し America Last という皮肉的な返信ツイートもある。

11 月 6 日 (火) [日曜日は Sabbath (安息日) で、歴史的にアメリカの選挙は月曜日 1 日の余裕をみて火曜日に実施される] に Trump 大統領の信任か否かとも関わった中間選挙(midterms)が終わり、与党共和党 [Republican Party : 別名 Grand Old Party (GOP)] は下院では野党民主党に敗北した。しかし、選挙直後の Trump 大統領の最初のネット上でのツイートは Tremendous success tonight. Thank you to all ! で、とことん強気の姿勢であった。今回は 4 ヶ月ほど前までさかのぼり、次を見てみる。

“Director David Lynch : Trump Could Go Down as One of the Greatest Presidents”
(June 25, 2018)

▲これは Trump 大統領が他人 (映画監督 David Lynch) の言葉を引用したツイートであるが、内容をくみ取るには下線部の could go down as の意味に留意が必要である。このアメリカの映画監督が Trump 大統領のことを具体的にどう言ったかであるが、それをさらに他の人がツイートしたものから抜粋する (文中での中略は筆者)。

Veteran filmmaker David Lynch believes President Donald Trump could be remembered as one of the greatest presidents in American history because of the way he has shaken up the political establishment. ... “[Trump] could go down as one of the greatest presidents in history because he has disrupted the thing so much. No one is able to counter this guy in an intelligent way Our so-called leaders can’t take the country forward, can’t get anything done Like children, they are. Trump has shown all this.” ... (by BEN KEW 24 Jun 2018)

下線部で分ろう。すなわち、Ben Kew 氏 (報道記者) は Trump 大統領は既成の政治を変えてしまったという点で米国史に残る偉大な大統領の 1 人? だと言っている。could be remembered as が下では could go down as と言い換えられている。could go down as ... in history は「～として歴史に残るだろう」の意味だと分かる。

また、has shaken up が下で has disrupted とまたも換言されていることも分かる。広義の類義語 (句) である。また、in an intelligent way はプラス (+) のイメージ語句で、下でのマイナス (-) のイメージ語句となる知能のない children と対比されている。これは広義の反義語 (句) である。

さらには can’t take the country forward と can’t get anything done が並列されているが、これも事実上の換言である。米国のリーダーたちは彼には太刀打ちできず、国を引っ張っていけず、全員がまるで子供だということを彼が示したという内容である [こういう段落の流れに関しては同系語 (paronym)、類義語 (synonym)、反義語 (antonym) の観点から拙著 (2016) 「松柏社」、第三部で扱っている]。いずれにせよ、Trump 大統領に関してはいろいろな評価がある。一映画監督として David Lynch は、Trump 大統領の演出 (パフォーマンス) ぶりを高く評価した。演出の 1 つに彼の赤・

青のネクタイがあるが、赤は与党共和党のシンボルカラーである（野党民主党は青）。

次に太線部の Donald Trump という名の由来に関して触れておきたい。一般の辞書では把握できないが、この分野の専門書は Donald という名は元来 Celtic（ケルト語）に由来し、原義が ‘ruler of all the nations’（世界の支配者）としている。

姓の Trump はいわゆる trump（トランプカードの勝ち札）ともやはり関わっている。これは triumph（勝利）、trumpet（トランペット）などとも同系(paronymic)であるし、実は Basic 語では **distribution**、またプラス α Basic 語では *tribe*（部族）などとも同系である。どのようにそれぞれ同系として関わりがあるかは、やはり発生源としての PIE etymon の音（素）形に注目するとよいのであるが、/TREI/ (/TRI/)〔改めて言うが大文字表記は筆者風〕とされていて、原義は数の「3」である。

何が「3」か？であるが、*tribe* の例から考えると分かりやすかろう。歴史的に古代ローマ時代には部族は3部族あったことが知られている。おそらく有史以前の印欧祖語民族もそのような部族制(tribalism)のもと、その支配者に貢物を分配(distribution)したと推定される。部族間での争いに勝利(triumph)すれば楽器としての trumpet を鳴らしもしただろう。さらに un-Basic 語の trial（裁判・試し）、tribunal（法廷・裁判所）などもすべて同系であるが、これも部族間の争いでの調停が3部族の支配者によりなされたと理解すればよかろう〔他の同系語も含め同上拙著、第二部、例(43)参照〕。

Donald Trump という名はスケールが大きいことが分かる。自画自賛(self-praise)を貫き通す彼はやはり上記、one of the greatest presidents in American history で、世界の支配者か？ところでこれに関連し特に最近、ある人たちの間には1つの思想がある。すなわち、新約聖書の最終篇「黙示録」(Apocalypse / Revelation)などの記述と絡めたもので、世界の支配体制が変わり、最後の審判がなされ、世の滅亡か？あるいはイエス＝キリストの再臨(the Second Coming of Jesus Christ)により救われるのか？と説く超神秘的ないわゆるオカルト的 occult [($\leftarrow$ oc (= over) + cult (= cover))、また黙示的 apocalyptic [($\leftarrow$ apo (= away) + calyptic (= cover))な思想である。

新約の黙示録などでは、世の終末の前兆として異常気象・大地震など天変地異が地球規模で起こり、そのとき trumpet {trump (= horn) + et (= small)}の音が奏でられると記しているが、この trumpet の音とは Trump 大統領の発言（ツイート）？というわけである。関連して、trumpet を動詞として用いた Daily Herald 紙の文例がその後ネット上に現れたので、その冒頭書き出し部分のみを参考までに抜粋して次に示しておこう。

President Donald Trump on Thursday trumpeted the renewed success of an Illinois steel mill, ... (*The Daily Herald*, July 29, 2018)

これは太線の Trump と trumpeted を掛けた文である。Trump 大統領がイリノイ州の鉄鋼所を訪れ、多数の労働者の前で景気は上向いていると称（たた）えた。

英語の trumpet（トランペット）の-et は上記 small の意味で、単に trump と言うこともある。事実、欽定訳聖書(*The Authorized Version of the Bible* / *The King James Version*)〔1611年刊〕の新約での使徒・聖パウロ(Saint Paul)による「コリント人への手紙 I」第15章52節(I Corinthians, 15:52)では the last trump と記され、今日これが英語では「最後の審判」の意味として定着した。

以下に新約「黙示録」から次の箇所を引き合いに出してみる。ここでは優れた英語訳聖書 *Good News Bible* (American Bible Society 刊) と、C. K. Ogden 監修と見なし、よい Basic English (BE) 訳聖書 *The Bible in Basic English* を対比して示す〔文中の trumpet(s) での太線、BE でのプラス α 語のイタリック体は筆者。全 910 頁の Basic 旧約・新約聖書は、プラス α 語（韻文・聖書用語 150 語）を抜きにしては 1 頁たりと

も成立しない]。

- 1) Then I saw the seven angels who stand before God, and they were given seven trumpets. (Revelation 8 : 2)

BE : And I saw the seven *angels* who had their place before *God*, and seven horns were given to them. (ibid)

- 2) But when the seventh angel blows his trumpet, then God will accomplish his secret plan, as he announced to his servants, the prophets. (Revelation 10 : 7)

BE : But in the days of the voice of the seventh *angel*, when the sound of his horn is about to come, then will the secret of *God* be complete, of which he gave the good news to his servants, the *prophets*. (ibid)

すなわち、世の終末には神の御前に 7 人の天使が現れ、7 番目の天使の trumpet (BE = **horn** : 角笛・ホルン・勝利や成功の象徴物) の音 (Trump 大統領の言葉?) が鳴るとすべて終わり、これは神の業の成就であり預言者に伝えたとおりとするというのである。あるいはこれは、新たな世界の誕生の意味か? どう解釈すべきか?

なお、この 1)、2) の BE 文のほうでイタリック体の *angel* (天使)、*God* (神)、*prophet* (預言者)、*revelation* (黙示・啓示) はプラス α Basic 語である。*angel*, *prophet*, *revelation* は聖書用語、*God* は韻文用語として Basic English の範疇の語である。

最後の審判や終末思想に触れたついでに、1 つだけ付け加えておこう。新約「黙示録」の 16 章 14 節、16 節を上記 *The Bible in Basic English* で見てみる〔中略、下線、プラス α Basic 語のイタリック体は筆者〕。

- 3) BE : They are *evil spirits*,...who go out even to the *kings of all the earth*, to get them together to the war of the great day of *God*, the Ruler of all. ... And they got them together into the place which is named in Hebrew Armageddon. (Revelation 16: 14, 16)

すなわち、世の終末には、悪霊が地の王たちを、ヘブライ語でハルマゲドン (英 : Armageddon) という名の地に召集し神と戦うというのである。語源的に Armageddon とは、古代パレスチナ (イスラエル北西部) の Megiddo の丘に由来する。この Megiddo の丘は実在し今日、観光地ともなっている。ここが人類の最終戦争の戦場となるというわけである。神の御言 (みこと) としての聖書記述は 100% 成就するというのがキリスト教思想であるが、黙示録的な終末思想も聖書釈義学としての追究そのものはよいが、これが他から主観的、感情的に、また動作を交え教示されると無意識にも一瞬に洗脳 (brain wash / mind control) され、妙なカルト集団を生む。

核兵器による Megiddo の丘での人類の存亡をかけた最終戦争ハルマゲドン? 下線部 *kings of all the earth* (地の王たち) とは誰か? イスラエル建国 70 周年に合わせエルサレムをイスラエルの首都と認定し、5 月にテルアビブから米国大使館をエルサレムに移転もさせ、8 月には 2020 年に米国は Space Force (宇宙軍) を創設すると声明も出した上記 'ruler of the earth' の意味の Donald という名をもつ Trump 米国大統領、謎の #QAnon 集団、Abbas パレスチナ自治政府議長、原油輸出を米国に禁じられた Rouhani イラン大統領、Salman サウジアラビア国王、Putin ロシア連邦大統領、6 月に史上初の米朝首脳会談を行った金正恩朝鮮労働党委員長、習近平中国国家主席、日本の王は安倍首相? 等々、聖書記述と今日の世界情勢から何かと憶測されている。

なお、BE 文 3) では韻文用語としてのプラス α 語 *evil*, *spirit*, *God*、そして国際名称語としてのプラス α 語 *king* が用いられている。

